



目指せ！！情報発信能力向上 豊岡市役所チラシコンテスト

年間多くのチラシを発行する豊岡市役所では、受け継がれた書式を重視するあまり、伝えたい人にキチンと伝わっていない場合があることも考えられる。

先日の職員研修「マーケティング手法を学ぶ」では、「What(何を)、Who(誰に)、How(どのように)」に配慮するなど、行政に通用することもたくさん学んだ。

届けたい人にキチンと届くチラシづくりを職員みんなが意識し、効果的な情報提供ができるようチラシコンテストを開催する。

1 募集対象

市が平成23年12月以降に作成した全てのチラシ（自前作成のみ）

2 実施期間（応募期間）

平成24年1月10日(火)～5月31日(木)

3 審査員

プロボノワーカー豊岡チーム 5人

〔プロボノワーカー豊岡チーム〕

本市ホームページ「コウノトリと環境」を「コウノトリと育む」へリニューアルを担当。

職員研修「マーケティング手法を学ぶ」（平成23年11月28日開催）で講義

プロボノとは

都市部のビジネスパーソンやクリエイターが、社会的・公共的な目的のために職業上の専門技術や知識を活かすボランティア活動

4 Prize(賞品)

市長賞・・・1点、副市長賞・・・2点

市長賞受賞者は、東京で開催するイベントへの参加権を獲得

例



〔問合せ〕政策調整部エコバレー推進室情報戦略係 TEL0796 - 23 - 1111（内線 2094、2095）



「マーケティング手法を学ぶ」職員研修会アンケート結果

自由記述(抜粋)

〔ターゲット関連〕

- ・ 誰に対しても情報を公平に伝えなければならないと思っていたので、濃淡をつける、というアイデアに目からうろこでした。
- ・ プロボノワーカーからの話は、第三者の客観的な目で感じ、捉えた内容であり、大いに参考となる。
- ・ 誰に 何を どう伝えるか、常に意識しながら業務を行っていきたい。
- ・ 研修を通して感じたことは、ターゲットを明確にすることで、今までは、市民全体にどのように知らせるかを中心に考えていたため、焦点がぼやけてしまっていた気がする。今後はターゲット(訴えかける者)を明確にしようと思う。



- ・ 何を、誰に、どのように伝えるのか?それを常に意識して仕事をする。それがマーケティングであるという論法に非常に共鳴した。
今後実践していきたい。
- ・ ターゲットのニーズを意識することで売上が9倍になったソニーの充電器は、分かりやすい事例でした。
わが市でも、受け手を意識した情報発信及び情報提供が重要であること痛感しました。
- ・ 公平性ということから市民全員に同じ情報を同じ方法で流す必要があると考えていたが、仕事によってはターゲットを絞って情報の流し方を考えていくこともできると思った。
- ・ ターゲット、訴求ポイント、付加価値、切り口等特に市の施設紹介の仕方をダブルチェック以上に係全体で行うことが大切であり、インパクトを持たせメディアが飛びつく題名が必要と再認識した。
- ・ 行政情報の内容は、市民全般を対象にしている場合、ターゲットを絞った表現等は難しいと思った。
- ・ 行政の市民への啓発や情報発信が、とかく行政用語になりがちであり研修であった What、Who、How を意識し、ターゲットに合わせた分かりやすい表現が必要と感じた。
- ・ 広く市民に広報する場合でも、市場調査を踏まえた結果に基づき、対象者を絞った広報の伝え方が必要であると理解できました。
今回の講演の内容は納得できるものであり、良い研修であったと思います。
What、Who、How は頭に残りました。
- ・ マーケティングにおいて、what(何を)・who(誰に)・how(どのように)がとても重要であり、相手次第で伝える内容が異なることがよくわかりました。今後の業務に生かしていきたいと思います。
- ・ 対象者によって、伝え方を変えていくのは、大変参考になった。
講師の方の話を聞きながら、改めてもっと豊岡のことを知っていけないといけないと感じる研修でした。
- ・ 皆さん、話し方が上手でした。「公務員(役所)はこうあるべき」と勝手に決め付けて、型にはめる傾向があることに気付かされた。もっと発想を柔軟に、綿密な調査を行なったうえ、顧客のニーズに合わせた分かりやすい表現の仕方、人を引き付ける表現の仕方に注意するよう業務にあたりたい。
- ・ タイトルで興味を引くことは意識して取り組んでいましたが、誰に対して表現を変える事は意識が足りなかったと感じました。記事を読んでもらえるかどうかはタイトルにかかっていると思うので、これからの参考にしたいです。

〔豊岡の魅力再認識〕

- ・ 市外の方から見て豊岡は魅力があると感じていただけていることがわかりました。さらに魅力アップと知名度アップですね。



- ・ 知ってさえもらえば、魅力あふれるまちなんだとさらに自信を持つことができました。

〔その他〕

- ・ 行政におけるマーケティングの意味、意義を分かりやすくまた端的に説明いただいたため、よく認識することができた。6名の皆さんの豊岡市への愛情に感謝します!
- ・ 人に理解してもらうためには、どのようにしなければならないかを改めて感じる事ができた。また、同じ画像を見ても、解釈に違いがあることは、このような研修の場でないと感じがつかないと思う。
- ・ 今回の研修は、係長級以上の職員と希望者を対象にしていたが、内容的には主任、主事級を対象に再度研修を実施してはどうかと考える。
- ・ いかに相手に伝えるかインパクトを持って見てもらえる物をつくるかを学べました。
- ・ 民間のノウハウを行政に応用することは確かに必要であると思う。
- ・ 市広報の他に各部署からのチラシが多すぎ、全てに目を通せないとの市民の意見もあり、情報発信方法の整理が必要である。
- ・ 自分が今担当している分野には関係がない話かと思っていましたが、「相手への伝え方」という点では、各分野に共通して使える内容でした。話が分かりやすくてよかったです。
- ・ 「何を、誰に、どのように」を意識していきたい。